

佐賀県からの標本に基づくクロホシマンジュウダイの初記録

藤井智畝¹・藤井琉穂²・藤井俊介³

Author & Article Info

¹ 佐賀県立鳥栖高等学校（鳥栖市）

chiune0423@gmail.com (corresponding author)

² 京都大学農学部（京都市）³ Aquatic Breath- 河川生物調査 -（三養基郡みやき町）

Received 16 September 2025

Revised 29 September 2025

Accepted 01 October 2025

Published 02 October 2025

DOI 10.34583/ichthy.60.0_1

Chiune Fujii, Ryuho Fujii and Shunsuke Fujii. 2025. First specimen-based record of *Scatophagus argus* from Saga Prefecture, Japan. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 60: 1–3.

Abstract

A single juvenile specimen of *Scatophagus argus* Linnaeus, 1766 (27.9 mm standard length) collected from the mouth of Hashimoto-gawa River represents the first specimen-based record of the species from Saga Prefecture, northern Kyushu, Japan.

クロホシマンジュウダイ *Scatophagus argus* Linnaeus, 1766 は、スズキ目クロホシマンジュウダイ科に属する汽水魚であり、主に内湾から河口域にかけて生息し、幼魚は感潮域を遡上し淡水域まで侵入することがある（久米ほか，2017；細谷，2025）。日本国内での本種の主な分布域は琉球列島を中心とする南日本であり、暖流の影響を受ける北海道や宮城県、秋田県からも仔稚魚の記録がある（秋田県農林水産技術センター水産振興センター，2008；島田，2013；旗，2020；濱田ほか，2022）。九州北部における本種の記録は、長崎県と福岡県、大分県、有明海から報告されている（内田・塚原，1955；塩垣・道津，1973；林ほか，1974；西田ほか，2004；伊藤ほか，2024；日比野ほか，2025）。このうち、有明海からの記録（内田・塚原，1955）は、魚類相の目録として報告されており、正確な採集地の記載を欠いているため、佐賀県からの本種の確実な記録は存在しない。2024年8月に玄界灘に面する橋本川の河口（佐賀県唐津市）で、1個体のクロホシマンジュウダイが採集された。この標本は、佐賀県からの本種の初めての確実な記録であるため、詳細を報告する。

材料と方法

標本作製の方法は本村（2009）にしたがった。計測は Hubbs and Lagler (1947) にしたがって、デジタルノギスを用いて 0.01 mm 単位まで計測し、少数第 2 位を四捨五入した。体色の記載は生鮮時に撮影したカラー写真に基づく。標本は佐賀県立宇宙科学館「ゆめぎんが」の魚類標本コレクション（SSSM-G）に登録した。

Scatophagus argus (Linnaeus, 1766)

クロホシマンジュウダイ

(Fig.1; Table 1)

標本 SSSM-G-0003, 標準体長 27.9 mm, 佐賀県唐津市・橋本川の河口（33°31'39.7"N, 129°56'57.9"E），2024 年 8 月 31 日，タモ網，藤井智畝採集。

記載 体各部の計測値を Table 1 に示した。体は著しく側扁し、体高が高く、横から見て円盤型（Fig. 1）。頭部は比較的小さい。口は吻端で小さい。眼は大きい。背鰭始部は胸鰭基底部の上方付近に位置する。背鰭の基底は長く、棘部と軟条部の間には明瞭な欠刻がある。臀鰭始部は、背鰭第 8 棘の基部下。背鰭と臀鰭の棘はともに強固。腹鰭始部は胸鰭基底の直下。尾鰭は截形で後縁は円い。

色彩 体と頭部の地色は、緑色がかった褐色から黒色。頭部には 2 本の黒色横帯があり、前方の 1 本は眼を通り、後方の 1 本は鰓蓋部を通る。体側には多数の黒色斑が散在する。背鰭の基底付近と棘部前方は広く橙色を帯びる。腹鰭と頭部背面も橙色を帯びる。背鰭と臀鰭の軟条部および尾鰭は半透明の黄色。

分布 本種はインド・西太平洋に広く分布し、日本国内では琉球列島から北海道オホーツク海沿岸まで広く記録があるが、そのほとんどは琉球列島を中心とする南日本である（島田，2013；旗，2020；濱田ほか，2022）。佐賀県からは上述の通り、本報告が初めての標本に基づく本種の確かな記録となる。

備考 本標本は、記載で記述したような特徴的な色彩と形態的特徴から、島田（2013）にしたがって、クロホシマ



Fig. 1. Fresh specimen of *Scatophagus argus* from Saga Prefecture, Japan (SSSM-G-0003, 27.9 mm standard length). Photo by R. Fujii.

ンジュウダイに同定された。

本標本の採集場所である橋本川河口の最下流部は、やや閉塞しており海との接続はあまり良くない。また、本標本はカワムツ *Nipponocypris temminckii* (Temminck and Schlegel, 1846) などの純淡水性の魚類と同所的に採集され

たことから、この地点は海水の影響がほとんど及ばない環境であると考えられる。河床は主に砂底であるが、一部に石が点在しており、河岸にはヨシが生育していた。水深は、最も深いところで1 m 前後であった。

橋本川は東松浦半島を流れる外洋に面した小河川である。そのため、対馬暖流などにより流されてきた南方系魚類が比較的侵入しやすい環境にあると考えられる。今回の採集時期は8月末と海水温の高い時期であったが、本種が東松浦半島沿岸で越冬しているかは不明であり、定期的なモニタリング調査の実施が望まれる。

謝 辞

本稿を執筆するにあたり、中島 淳博士（福岡県保健環境研究所）と浅山典昭氏（魚類生態研究所）には文献の収集にご協力いただいた。伊藤辰徳氏（佐賀県立宇宙科学館）には、標本の登録にご協力いただいた。匿名の査読者には原稿に対して的確なアドバイスをいただいた。以上の方々に謹んで御礼申し上げる。

Table 1. Counts and measurements of *Scatophagus argus* (SSSM-G-0003) from Saga Prefecture, Japan

Standard length (SL; mm)	27.9
Total length (mm)	35.5
Dorsal fin rays	XI, 17
Anal fin rays	IV, 14
Pectoral fin rays	17
Head length (% SL)	35.0
Body depth	68.5
Caudal peduncle length	10.0
Caudal peduncle depth	14.0
Pectoral fin length	21.1
Pelvic fin length	27.2
Caudal fin length	26.5
Snout length (% head length)	33.7
Orbit diameter	29.6

引用文献

- 秋田県農林水産技術センター水産振興センター. 2008. 秋田県で初めて確認された魚類. 群来, 64: 1.
- 濱田幸穂・三宅教平・河合俊郎. 2022. 北海道長万部沖太平洋から採集されたクロホシマンジュウダイの記録. 日本生物地理学会会報, 77: 109–113.
- 旗 薫. 2020. 宮城県内の河川で採集された県内初記録となる暖水性魚類. 伊豆沼・内沼研究報告, 14: 69–80.
- 林 宏・祝原道衛・鳥潟春雄・吉田博一. 1974. 福岡県生物誌 脊椎動物編. 福岡県高等学校生物研究部会, 福岡.
- 日比野友亮・中島 淳・乾 隆帝・鬼倉徳雄・安武由矢. 2025. 文献に基づく福岡県産魚類の目録, および標本に基づく種同定の訂正. 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 A 類 (自然史), 23: 1–93.
- 細谷和海. 2025. クロホシマンジュウダイ, p. 383. 細谷和海 (編) 山溪ハンディ図鑑. 日本の淡水魚 第4版. 山と溪谷社, 東京.
- Hubbs, C. L. and K. F. Lagler. 1947. Fishes of the Great Lakes region. Cranbrook Institute of Science Bulletin, 26: i–xi + 1–186.
- 伊藤 昂・伊藤瑛斗・井上大輔・中島 淳. 2024. 大分県別府市におけるクロホシマンジュウダイの記録. ニッチェ・ライフ, 12: 135–136.
- 久米 学・和田敏裕・高木淳一・堀 友彌・三田村啓理・荒井修亮・山下 洋. 2017. 福島県松川浦におけるクロホシマンジュウダイ幼魚の初記録. 魚類学雑誌, 64: 201–205.
- 西田高志・松永 敦・西田知美・佐島圭一郎. 2004. 宗像郡津屋崎町沿岸魚類目録. 九州大学大学院農学研究院学芸雑誌, 59: 113–136.
- 島田和彦. 2013. クロホシマンジュウダイ, pp. 1612, 2212. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大出版会, 秦野.
- 塩垣 優・道津喜衛. 1973. 長崎県野母崎町沿岸の魚類. 長崎大学水産学部研究報告, 35: 11–39.
- 内田恵太郎・塚原 博. 1955. 有明海の魚類相について. 日本生物地理学会会報, 16–19: 292–302.